



マッシー川口の  
FROM NEW YORK FROM NEW YORK FROM NEW YORK

# from New York

## 「スキ、スキ、SKIING」の巻き

ヤッホー！調子はどうですか？冬といえば、スキー！の私は、今年は念願のアメリカでのスキーを体験してマス。



まずは憧れのコロラドで滑ってきました。どのスキー場もホームページがあるので、チェックできるよ。ニューヨークの空港からデンバーまで3時間。そこから車がシャトル(バン)で約2時間の人気スキーリゾート、ウインターパークにまっしぐら！

スケジュール上、一人でコロラド入りした私は、あらかじめシャトル会社「HOME JAMES」のホームページで、シャトルの名前と時間をチェックしてたから助かったワ。空港には何のサインもなく、専用のカウンターもないので、インフォメーションで聞いたら「あのドアのあたりで待っているとシャトルの人が来てくれるはずだから」などというアバウトな案内で、デンバー空港に4回目の私でさえ説明不足にムっときたけど、それがアメリカ。日本から初めてなら、そうとうわかりにくいのでご注意ください。

めでたく着いたウインターパークはウッディーな建物が並ぶカワイイ街だった。やっぱりアメリカは広いよね。スキー場もBIG！高い山が4つ連なっていて、山頂は4000メートルで富士山より高い！ゆえに滑るゲレンデも広く、こっちの山からあっちの山へ長いリフトが20本ぐらいあって、初級からエキスパートまで121のコースが入り乱れ、ロングにいろいろ滑れてとっても楽しいのだ。ランチの待ち合わせは、ゲレンデマップをポケットから出して「ウイッスルトップ」から「ホワイトラビット」に行き、「クラマー」で降りて来ようとか、コース名を覚えて滑らないと迷子になっちゃうゾ。

それにしてもゲレンデはすいていて、山の景色も素晴らしい、雪もパウダーで最高！一度コレを体験すると、混み混みの日本のスキー場で何十分もリフト待ちしてたのが遠い夢のよう。リフトの柱にスピーカーはなく、音楽もナシでゲレンデはとっても静かだ。スキーヤーはみんな親切よ。頼めば写真も気軽に撮ってくれるし、どこでも目が合うと「ハーイ」と挨拶。リフトで隣の人と話がはずんで、降りるときに「Have fun, take care. (楽しんでね、じゃね)」とコースに消えて行く。テキサスから、カリフォルニアから、アーカンソーから全米のいろんな人と会話したけど、ヨーロッパからのスキーヤーも多かったわ。ここはスノーボードももちろんOK。ウェアはボーダーも含めてスポーツティが主流で、各自好き勝手な格好で滑ってるって感じね。

ちなみにリフト券は2日分で78ドル(天候のことも考えられていて、



### カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。他に「コナミの人気ゲーム」ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。今年の朝日新聞デジタル広告賞特別審査員。



購入時から3日間のうち2日簡便使える)。最初にベースで一回確認したら、あとはどこのリフトもチェックはなし。さすがアメリカ。非常に合理的ね。山の上の方に行くと、リフト乗り場前にメッセージボードと鼻水対策用にティッシュが一枚ずつ取り出せるボックスが設置されていた。これはいい考え。意外とケアが細かいのね。

ビックリしたのはスキーレンタル。なんと、スキー板はほとんど新型のおしゃれ型「シャイブスキー」に変わっていた！そのスキーショップでは従来の板はもう売ってないんだって。へ～！(ブーツは自分のラングを持参したので、板とポールで1日20ドル)

さて、泊まるのはホテルではなく、こちらではロッジを借りるのが常識ということで、今回はニューヨークから3人、日本から4人、ダラスから1人の合計8人で、リビングに暖炉付きの山小屋風ロッジのゲットに成功。ここでもインターネットは活躍する。事前に写真を見ながら探せるのでとっても便利ね。料理道具や食器、食器洗い機も完備してるので、アフタースキーは近くのスーパーで買い出ししてみんなで自炊よ。元コロラド住人の料理長K嬢の音頭で、スープやスパゲティーにサラダとビーフと茄子焼きなど、わいわいクッキングしたあと、暖炉の火を見ながらのディナー。朝食もシリアルやフルーツなどで元気を付けて、いざスキー場へ出発ってな生活を4日間続けたの。こういうスキーライフをアメリカでは2週間とか、10日間とか楽しむ人が多いようだ。OH！なんとうらやましい！

朝食もシリアルやフルーツなどで元気を付けて、いざスキー場へ出発ってな生活を4日間続けたの。こういうスキーライフをアメリカでは2週間とか、10日間とか楽しむ人が多いようだ。OH！なんとうらやましい！

昼食は日本だったら、まず大好物のラーメンかおでんだけ、こっちはカフェテリアでハンバーガーやサラダやチャウダースープのランチとなる。私は熱

いチェダーチーズをかけたバイクドポテトとクリームスープのランチが気に入って、つい同じモノを3日も食べてしまった。思わず志賀高原の横手山のロシア風のこのスープのことを思い出したワ。さらにもここにもスターバックスの美味しいコーヒーがあり、ゴキゲンだよ。

コロラドで味をしめて、今度はスキー板とポールも購入して、ニューヨークから車で5時間のキリントンリゾートに挑戦してみた。5人でジャグジー付きロッジを借りた。ゲレンデはコロラドよりは狭いものの、期待していたよりも雪が良く、こちらもおすすめよ。



マンハッタンのスキーショップでも、やはりメインはシェイブスキーだった。あえてオリジナルを選ぶ私は時代遅れの人間なのか？？あなたもウインターパーク楽しんでね。

バイバイ、ニューヨークから愛をこめて...チュッ！！マッシー：)

- 関連サイトはココ！
- ウインターパークスキーリゾート  
<http://www.winterpark-info.com/>
- ニューヨークの多い、キリントンスキーリゾート  
<http://www.killington.com/>

illustrator : Satoko Kido





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)